

地方経済情報 Weekly No.280

阿蘇の棚田にスマート農業を導入したい！ ～（公財）肥後の水とみどりの愛護基金様に視察いただきました～

1. 山都町でのスマート農業実証プロジェクトの視察

当研究所は、山都町の通潤橋周辺にある棚田で、スマート農業技術を活用した有機農業実証プロジェクト※1の視察を随時受け入れています。

今月上旬、阿蘇の山田地区で約70枚の棚田を管理する（公財）肥後の水とみどりの愛護基金様に視察いただきました。

2. 棚田の水管理の負担軽減に向けて

今回は膨大な時間がかかる棚田の維持管理の課題解決に向け、水管理システムの実証状況を視察されました。アプリによる遠隔での水位管理や、自動給水装置などの操作を体験した担当者の方からは、「水管理システムをどのように導入すれば負担軽減につながるのか、具体的にイメージができた」とのコメントをいただきました。

3. スマート農業を気軽に体験できます！

「スマート農機の導入検討にあたり、実際に操作してみたい!」、「中山間地域でも使えるスマート農機はどのようなものか知りたい!」など、スマート農業に関心のある方は、ぜひ山都町でスマート農業をご体感ください。

【山都町スマート農業実証プロジェクト】

<http://www.dik.or.jp/smartagri/>

スマート農業プロジェクト



※1 本実証は農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト(課題番号:水2H08、課題名:スマート農業を導入した国際水準の有機農業の実践による中山間地域と棚田の活性化モデルの構築)」(事業主体:国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)の支援により実施。

◆山都町の棚田での水管理システムの視察◆



(写真) 当研究所撮影

◆地下水を育む阿蘇水掛の棚田◆



(写真) (公財) 肥後の水とみどりの愛護基金提供

本事業に対するお問い合わせや視察のお申し込みはコチラへ

TEL: 096-326-8634

公益財団法人 地方経済総合研究所 宮野・財津

担当: 研究員 財津